

Everything is important

UniBio Press CEO / 社団法人  
日本動物学会 事務局長  
永井 裕子



## 日本のジャーナルは特殊か

- ジャーナルの多くは大規模な出版形態を持った巨大会から出版されてはいない。
- \* 90%にちかい学会は1つのジャーナルを刊行している
- 小学会はフルタイムの仕事に従事する研究者により、出版業務を支えている。
- 学会出版は、ジャーナル刊行目的の遂行と経済的安定とを案配しなければならない。

UniBio-BioOne meeting 2007.5 Susan Skomal ppt より

## The Crustacean Societyの場合

### 学会出版の問題点

- 会員数の減少
- ページチャージとフリーページの問題

\* ジャーナルを自ら出版ということ？

- その本当の意味は
- 高い品質を保ち続けることの困難さ

## The Crustacean Societyの場合

- 収入(単位はドル)

ジャーナル冊子販売	24, 000
図書館購読料	43, 532
会費	48, 572
BioOne収入	17, 680
その他	13, 016

## The Crustacean Societyの場合

支出(編集費)

ジャーナル出版経費	69, 364
編集局経費	17, 930

全体としては黒字経営

## 図書館購読

規模、会員数、抱えている問題は同じ

しかし

図書館購読、ジャーナルは販売する  
という考え方の圧倒的違い

## 電子ジャーナル購読

- 信頼できるプラットフォーム（アクセスデータ、今後の方針、何にお金をかけているか）
  - \* 投稿システム→wordからXML作成。dtd付与。  
組版 →プラットフォームへ
- 分野にとって、学会出版にとってより有利で、「コンテンツを届けたい研究者に届く場」  
**すべてのコンテンツはデジタル**  
ジャーナルの存在をより明確にするため！

2007年1月2日

- BioOne プラットフォームからの発進開始
- BioOne.1(購読義務あり)BioOne.2(なし)
- UniBioはBioOne. 2のコンテンツのひとつとして販売されている
- 国内はUniBio Press 単体販売可能  
\$ 1, 000

## 国内購読館

- 大阪教育大学、千葉大学、新潟大学、東京大学、北海道大学、鹿児島大学、東北大学、京都大学、広島大学、岩手大学、徳島大学、名古屋大学、東京農業大学、早稲田大学、九州大学、理化学研究所、近畿大学、麻布大学、三重大学、信州大学、農業生物資源研究所、神戸大学、愛知学院大学、東邦大学、金沢大学、山口大学、茨城大学、島根大学、大阪大学、埼玉大学 31大学

UniBio6誌 DL件数月別推移 (BioOne2007年1-9月)

